

より高度な事業に挑戦したいという思いが、人工衛星となって宇宙へ飛び立つ

「小学生の頃は、祖父母がくれたホビーPCのプログラミングに夢中だった。幼少期に他界した父に代わり、大学を出てすぐ会社に入ってから、コンピュータが好きで、「より精度や管理が求められる分野に挑戦したい」と思っていた。（代表取締役社長 石川 実良氏）」

○事業展開の背景、効果・反響

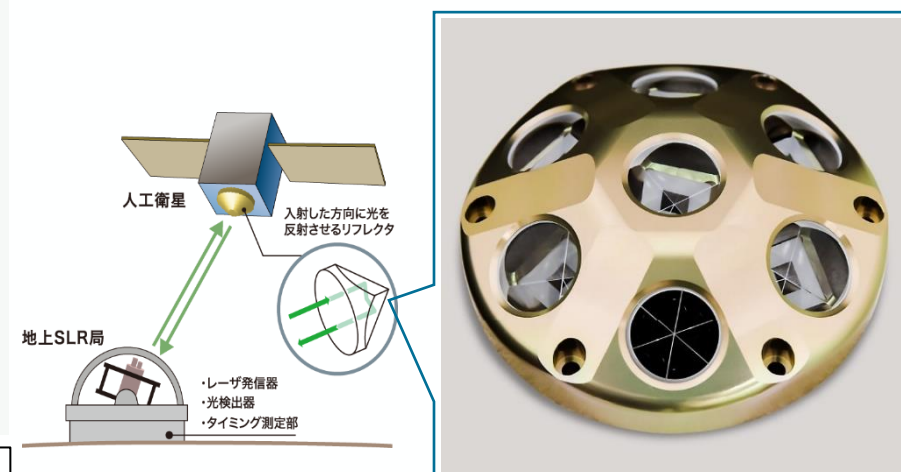
- ・三州瓦の産地で瓦金型メーカーとして創業。多品種小ロット生産に対応した瓦製造装置の設計・製造に取り組んで提案力と品質保証の能力を磨き、自動車部品を製造して欲しいとの要望を受けて自動車部品製造も実施。経営理念である「期待に応える」を実践し、「加工技術がないからできない」と断るのではなく、まずは無謀に思えてもやってみて、後から結果が付いてくるような挑戦を創業者から代々続けて来た。
- ・2017年以降は、航空宇宙分野に携わる友人が持ち込んだアイデアを形にし、自社として初めて航空宇宙部品の製作を開始。展示会への出展や、米国企業への営業活動、JISQ9100認証の取得を進め、静岡大学が開発した超小型人工衛星「蓬莱（ほうらい）」の金属フレームや、地上から照射されたレーザー光を反射させて跳ね返すことで人工衛星の位置をミリ単位で測定する小型リフレクターをはじめとする航空宇宙部品を製造。
- ・事業領域を拡大する過程では、異なる業種の要求事項に対応するため年々厳しいルールを課せられることとなった現場との軋轢や従業員の離職を経験。営業活動においても意気揚々と米国に乗り込んだ結果、自社製品が当時の最先端からすると時代遅れであることを知り、傷心帰国するなど、多くの難局を乗り越え現在に至る。

○今後の展開

- ・海外での販路拡大を狙い、欧米の民間宇宙開発企業等への売り込みを強化。



展示会出展の様子（出所：石敏鐵工(株)HP(<https://www.ishitoshi.co.jp/space/index.html>))



人工衛星の位置を把握するための部品（SLR用小型リフレクター）
（出所：石敏鐵工(株)HP(<https://www.ishitoshi.co.jp/slr/>))

<企業情報>

所在地：愛知県碧南市須磨町5番地17

代表者：代表取締役 石川 実良

創業：1948年

従業員数：18名

資本金：1,000万円

事業内容：瓦金型、自動車部品、航空宇宙部品製造

HP：<https://www.ishitoshi.co.jp/>